

自己評価及び外部評価結果

〔事業所概要(事業所記入)〕

事業所番号	0174100560		
法人名	有限会社 M&Y		
事業所名	グループホーム鶴ヶ岱 1階ユニット		
所在地	釧路市鶴ヶ岱3丁目7番6号		
自己評価作成日	平成25年2月25日	評価結果市町村受理日	平成25年3月14日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kanji-true&JigyosyoCd=0174100560-00&PrefCd=01&VersionCd=022

〔評価機関概要(評価機関記入)〕

評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成25年3月11日		

〔事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)〕

自然環境に恵まれ、ホーム近隣に釧路市民憩いの場である大きな公園を2,3ヶ所を有し、利用者様の日課としている散歩、ドライブでその公園内において、一般の市民、地域の住民の方々とお話したり、その方々の連れられているペットを可愛がったりして明るい表情を見せた外出となっていたり、また近くのショッピングセンターやドライブを兼ねた買い物を利用者様に楽しんで頂いている。敷地内では花や木の鑑賞また季節の野菜を植え収穫を楽しんで頂いている。敷地内の安らげる場所で気候の良い日には外気浴、敷地内での散歩をし、ベンチで休息しながら1,2階の利用者様のコミュニケーションの場となるよう支援している。

〔外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)〕

<利用者の楽しみごとへの支援>
 利用者が楽しんで過ごせるよう事業所内外で行事や催し物、誕生日会等を行い、春や秋には別保公園での花見や紅葉散策や山花温泉へ入浴と外食ツアー、近郊の観光地へのドライブやショッピングセンターへの買い物等を身体機能が低下している利用者が多く来てきているが、出来る限り希望に添えるよう支援しています。また、天気の良い時には、事業所や春採湖周辺を散歩したり、敷地内での外気浴や畑での花や木の鑑賞、季節の野菜を植え収穫を楽しんでもらえるように支援しています。事業所内でも定期的に、ボールと棒を使った運動、輪投げ、リズム体操等のアクティビティのボランティアや日本舞踊、大正琴、カラオケリズム体操等のボランティアの慰問も受けており、家族会主催で野外食事会やクリスマス会等の行事を行い、家族と協力しながら取り組んでいます。

.サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)		項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します	
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	認知症であっても自分らしい生活を地域の中でおこなうことができるよう、理念の中に組み込み管理者、職員全員がその理念を共有し、地域の方々と共に支えあい実践につなげている	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作り上げ、申し送りや職員会議で振り返る機会を作り、その実践につなげている。また、共用空間の見やすい場所に掲示され、生活記録にも貼付されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	事業所が町内会の一員となり積極的にその活動に参加したり、また地域の方々もホームの行事などに参加いただくなど交流している	町内会の焼き肉やお祭り等の行事や活動に参加し、避難訓練や事業所の行事にも参加して戴いている。また、地域の方々に向けて事業所で認知症サポーター講座を行い、理解を深めてもらえるように取り組んでいる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の交流の場に事業所の一部を提供し日常の交流を通して認知症への理解をして頂いたり、事業所で認知症サポーター講座を行いその理解を深めて頂くなど地域の方々に向けて活かしている		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い利用者やサービス、評価への取り組み状況等を報告話し合いの中で意見を職員間の会議などで検討しサービス向上に努めている	年6回を目安に開催し、包括支援センター職員、町内会長、ご家族が参加して事業所の活動報告や防災訓練、避難誘導など地域との協力体制についてを具体的に意見交換し、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者とは事業所の実情やサービスの取り組みを面談や電話、メールなどで連絡しながら協力関係を築いている	市担当者や包括支援センターとは、日常業務や運営推進会議を通じて情報交換を行い、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者及び職員は指定基準における禁止の対象行為を正しく理解でき、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。夜間の玄関の施錠は防犯対策で身体拘束の理由ではない	外部の身体拘束の研修会に参加し、それを全体会議で報告し、指定基準における禁止の対象行為を正しく理解し、職員間で共有している。また、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は高齢者虐待防止法について研修会や職員会議棟で学び事業所内での虐待が見逃されることがないように周知徹底し防止に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は日常生活自立支援事業や成年後見制度についての学びは不足しているが、その必要性は強く認識し学ぶ機会を持ち、活用できるよう支援している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約または改定等の際は利用者には理解や納得を得ることは難しい事もあるが家族には十分な説明を行い理解、納得を図っている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置をしたりや苦情受付や日常的に利用者や家族との意見交換をしている	家族の来訪時に積極的に意見交換を行い、希望や要望を言ってもらえるように取り組んでいる。また、管理者、職員並びに外部者へ意見や苦情等を言い表せるように苦情等の意見箱を設置している。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議や個人面談の際に意見や提案を受け、反映させている	管理者は、毎月の職員会議や日頃から職員の意見や要望、提案を聞くように取り組んでいる。また、必要に応じて個別に面談する機会を作り反映させている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者や職員は自己評価をしその評価の元面談、意見交換しより良い職場の環境づくりに生かしている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修等を受ける機会を確保し積極的に参加するよう意識の向上を促し個々のケアの向上につなげている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	日本認知症グループホーム協会や北海道認知症グループホーム協会に加入しその研修会や交流会に積極的に参加し、その活動を通してサービスの質の向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期の不安や緊張を取り除き安心して暮らして頂けるようにそれまでの生活の情報や心身の情報などを本人や家族と十分な時間を取り本人が安心していけるように関係づくりに努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の段階では家族と十分な説明、話し合いの時間を取り、不安や不満の解消を図り今後のよい関係づくりに努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用開始の段階では利用者や家族から情報の収集に努め、早急な対応が必要な場合にはその支援を見極め柔軟な対応をしている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者の思いを受け止め介護される一方の立場にだけ置くことの無いよう、暮らしを共にしていく関係づくりをしている		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族に日々の暮らしの出来事や情報を伝え不安の解消や利用者の思いを伝え相談をし共に本人を支える協力関係を築いている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人の来訪にはゆっくり過ごせるよう支援できているが利用者によっては馴染みの場所や人に会いに行くなどの出向いていく事は身体の状況などから難しく成ってきていて、だんだん出来なくなっている	センター方式でアセスメントや生活歴の把握に努め、馴染みの人の訪問の際はゆっくり過ごせるよう支援している。また、地域の行事への参加で馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの利用者が孤立しないように関わりを持ち支えあえるように職員が調整役となり支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も家族からの要望や連絡があった場合にはその都度相談に応じ、対応している			
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いをくみ取れるように努めているが暮らし方は本人の希望に添えているかは不安がある。個別の対応で本人本位に向けて努めている	センター方式の活用や普段の関わりの中で、一人ひとりの希望や意向の把握に努め、本人本位のケアが実践できるように支援している。また、職員間で情報の共有が行われている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴馴染みのある暮らし、入所までの状況を家族等から情報を頂き、ファイルして常に把握できるよう努めている			
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活を記録し申し送りなどで、職員全員が認識し利用者の現状の把握に努めている			
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らしていくため職員全員でその課題とケアの在り方をアセスメントシートを活用し本人や家族の思いを聞いたりしながら現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、センター方式を活用し、本人の希望や意向を把握して、モニタリングを通じて話し合い、そこでの意見やアイデアを介護計画に反映している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況を生活の記録に記入をし職員間で情報の共有をして実践や介護計画の見直しなどに活用している			
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の意向に沿って柔軟に対応、支援している			
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の公園やショッピングセンターの利用や同一敷地内の他事業所への訪問などにより楽しみのある暮らしができるよう支援している			
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の往診を受けたり、病院受診が必要な時は職員が同行するなど適切な医療を受けられるように支援している	事業所の看護師を中心として利用者の健康管理に努めており、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、医師の往診や病院への受診の際は職員が同行するなどして適切な医療を受けられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は職場内の看護師に利用者個々の情報や気づきを伝え、相談し受診の指示や、看護を受けられるように支援している		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には家族と同行し医療機関に情報の交換や相談をして利用者が安心して治療が出来たり早期退院できるように支援している。また訪問診療の際などに関係づくりを行っている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の在り方は家族とは話し合い説明しながら方針を共有できるように取り組んでいるが、すべての利用者家族に至ってはいない	重度化や終末期の在り方について、本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、事業所ができることを十分に説明しながら方針を共有するように努めている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ほとんどの職員は消防署の救急救命の講座訓練を受けており実践力を身に付けているが新入の職員は職員間で訓練を行っているが実践力を身に付けているとは言えない		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練には地域の方々の協力を得ている。職員は火災対策は日頃より意識が強いが他の災害対策は身につけているとは言えないので早急に対応していく	年に2回、消防署の協力の下、地域の方々と一緒に通報から避難誘導まで行う総合訓練を行っている。また、自動通報装置には地域の方々も登録され協力関係も築かれている。設備の定期点検やスプリンクラーの設置も完了している。	今後は地震、津波等の防災対策について、避難誘導や避難経路確保等地域との連携を含める取り組みを検討しているので、その実践に期待します。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの人格を尊重し尊厳を保てるようプライバシーを保った言葉かけや対応をしている	記録や個人情報の取り扱いにも十分配慮している。また、誇りやプライバシーを損ねるような言葉や対応がないように心掛けている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が思いや希望を表現できたり自己決定出来るようにその場面作りをしたり、個別の対応している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望や意向に添って、その人らしい暮らしが出来る様に一人ひとりのペースに合わせて日常生活の支援をしている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ホームへの定期的な訪問理容を利用し整髪したり、個々に合わせて身だしなみを整えたりなど支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者のほとんどが食事の時間が1番楽しみで一人ひとりの好みを把握し、メニューに反映させられるように努めている	食事が楽しみなものになるよう、利用者の一人ひとりの好みを把握し、献立に反映している。また、利用者の力を活かしながら、可能な限り一緒に準備や食事、後片付けが行えるように取り組んでいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事や水分の摂取量を記録に残し量や栄養バランスを確保できるよう支援している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは医療機関の指導を受け一人ひとりの利用者の状態に合わせたケアをしている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の状況を記録し、一人ひとりの排泄パターン、習慣を把握し排泄介助や「トイレでの排泄、自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの力や排泄パターンを排泄チェック表で把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や水分量を把握し運動などの活動への働きかけ等で予防を図り、重度の便秘者には医療機関と連携し対応している		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者の希望や体調に合わせて支援しているが、ホーム、職員の都合で変更せざる負えない日もある	週2回を目安に一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて入浴支援をしている。また、入浴拒否の強い利用者にも柔軟に支援を行っている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその日の体調や状況に合わせて、居室で休めるように支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の説明書をファイルし職員全員がその目的や副作用、用法や用量について理解しており服薬の支援と症状の変化の確認に努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今、出来る事や本人が希望する事を体調に合わせて行えるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩や外気浴など戸外に出る機会が多くなる様支援しているが、冬期間などは戸外の状況が悪く、体調不良やその日の状況で出かける事が少なくなっている</p>	<p>本人の希望や体調に合わせて、春採湖周辺や敷地内での散歩やショッピングセンターへの買い物同行等戸外に出かけられるよう支援している。また、別保公園への花見や紅葉散策、近郊の観光地へのドライブや外食等、普段行けない場所へ出かけられるように支援している。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員は本人がお金を所持し、使ったりすることの重要性は認識しているが、本人はお金の所持、管理ができなくその支援にはつながない</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話や手紙のやり取りの希望がある時は職員が代行したり、本人が出来るように支援している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間に季節の花で生け花をしたり他の植物を置いたり、絵や展示物で季節感を感じて頂けるようにしたり音や光、温度などに配慮し居心地良く過ごせるように工夫している</p>	<p>共用空間や廊下の壁には、利用者の写真や手芸の作品が飾られ、季節ごとの行事に合った飾り付けをして利用者が居心地良く過ごせるよう工夫している。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間で一人になれる場が限られているため個々の居室や敷地内のベンチ等にご案内してくつろいで頂けるよう支援している</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には危険なもの以外は規制しておらず使い慣れたものや好みのものを自由に使う、居心地良く過ごして頂けるようにしている</p>	<p>居室は、入居の際に本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や寝具、仏壇や家族の写真等が持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の身体状況に合わせて食卓イスを揃えたり廊下や居室などの居住空間の手すりなどの見直しをし安全に配慮した生活の支援をしている</p>		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174100560		
法人名	有限会社 M&Y		
事業所名	グループホーム鶴ヶ岱 2階ユニット		
所在地	釧路市鶴ヶ岱3丁目7番6号		
自己評価作成日	平成25年2月25日	評価結果市町村受理日	平成25年3月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然環境に恵まれ、ホーム近隣に釧路市民憩いの場である大きな公園を2,3ヶ所を有し、利用者様の日課としている散歩、ドライブでその公園内において、一般の市民、地域の住民の方々とお話したり、その方々の連れているペットを可愛がったりして明るい表情を見せた外出となっていたり、また近くのショッピングセンターやドライブを兼ねた買い物を利用者様に楽しんで頂いている。敷地内では花や木の鑑賞また季節の野菜を植え収穫を楽しんで頂いている。敷地内の安らげる場所で気候の良い日には外気浴、敷地内での散歩をし、ベンチで休息しながら1,2階の利用者様のコミュニケーションの場となるよう支援している。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0174100560-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成25年3月11日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--	--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	認知症であっても自分らしい生活を地域の中でおくって行けるよう、理念の中に組み込み管理者、職員全員がその理念を共有し、地域の方々と共に支えあい実践につなげている		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所が町内会の一員となり積極的にその活動に参加したり、また地域の方々もホームの行事などに参加いただくなど交流している		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の交流の場に事業所の一部を提供し日常の交流を通して認知症への理解をして頂いたり、事業所で認知症サポーター講座を行いその理解を深めて頂くなど地域の方々に向けて活かしている		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い利用者やサービス、評価への取り組み状況等を報告し話し合いの中での意見を職員間の会議などで検討しサービス向上に努めている		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者とは事業所の実情やサービスの取り組みを面談や電話、メールなどで連絡しながら協力関係を築いている		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者及び職員は指定基準における禁止の対象行為を正しく理解でき、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。夜間の玄関の施錠は防犯対策で身体拘束の理由ではない		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は高齢者虐待防止法について研修会や職員会議棟で学び事業所内での虐待が見逃されることがないように周知徹底し防止に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は日常生活自立支援事業や成年後見制度についての学びは不足しているが、その必要性は強く認識し学ぶ機会を持ち、活用できるよう支援している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や解約または改定等の際は利用者には理解や納得を得ることは難しい事もあるが家族には十分な説明を行い理解、納得を図っている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置をしたりや苦情受付や日常的に利用者や家族との意見交換をしている		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議や個人面談の際に意見や提案を受け、反映させている		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者や職員は自己評価をしその評価の元面談、意見交換しより良い職場の環境づくりに生かしている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修等を受ける機会を確保し積極的に参加するよう意識の向上を促し個々のケアの向上につなげている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	日本認知症グループホーム協会や北海道認知症グループホーム協会に加入しその研修会や交流会に積極的に参加し、その活動を通してサービスの質の向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期の不安や緊張を取り除き安心して暮らして頂けるようにそれまでの生活の情報や心身の情報などを本人や家族と十分な時間を取り本人が安心していけるように関係づくりに努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の段階では家族と十分な説明、話し合いの時間を取り、不安や不満の解消を図り今後のよいよ関係づくりに努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用開始の段階では利用者や家族から情報の収集に努め、早急な対応が必要な場合にはその支援を見極め柔軟な対応をしている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者の思いを受け止め介護される一方の立場にだけ置くことの無いよう、暮らしを共にしていく関係づくりをしている		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族に日々の暮らしの出来事や情報を伝え不安の解消や利用者の思いを伝え相談をし共に本人を支える協力関係を築いている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人の来訪にはゆっくり過ごせるよう支援できているが利用者によっては馴染みの場所や人に会いに行くなどの出向いていく事は身体の状態などから難しく成ってきていて、だんだん出来なくなっている		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が良い関係でいられるよう、リビングを中心に皆さん集まり談笑したり、カラオケ、音楽を聴くなどの機会を多く持ち利用者同士が支えあえるよう、思いやれるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後他の施設に入所されたり、ご自宅へ戻られた方々の訪問を受けたり、電話や手紙で近況報告を受け、相談や支援に努めている		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いをくみ取れるように努めているが暮らし方は本人の希望に添えているかは不安がある。個別の対応で本人本位に向けて努めている		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴を大切にその暮らしの把握に努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活を記録し申し送りなどで、職員全員が認識し利用者の現状の把握に努めている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らしていくため職員全員でその課題とケアの在り方をアセスメントシートを活用し本人や家族の思いを聞いたりしながら現状に即した介護計画を作成している		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況を生活の記録に記入をし職員間で情報の共有をして実践や介護計画の見直しなどに活用している		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の意向に沿って柔軟に対応、支援している		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の公園やショッピングセンターの利用や同一敷地内の他事業所への訪問などにより楽しみのある暮らしができるように支援している		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の往診を受けたり、病院受診が必要な時は職員が同行をするなど適切な医療を受けられるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は職場内の看護師に利用者個々の情報や気づきを伝え、相談し受診の指示や、看護を受けられるように支援している		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には家族と同行し医療機関に情報の交換や相談をして利用者が安心して治療が出来たり早期退院できるように支援している。また訪問診療の際などに関係づくりを行っている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の在り方は家族とは話し合い説明しながら方針を共有できるように取り組んでいるが、すべての利用者家族に至ってはいい		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ほとんどの職員は消防署の救急救命の講座訓練を受けており実践力を身に付けているが新入の職員は職員間で訓練を行っているが実践力を身に付けているとは言えない		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練には地域の方々の協力を得ている。職員は火災対策は日頃より意識が強いが他の災害対策は身につけているとは言えないので早急に対応していく		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの人格を尊重し尊厳を保てるようプライバシーを保った言葉かけや対応をしている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が思いや希望を表現できたり自己決定出来るようにその場面作りをしたり、個別の対応している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望や意向に添って体調を踏まえたうえで散歩、買い物、ドライブなどの外出やホーム内での役割ごとなどを支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ホームへの定期的な訪問理容があったり、個人の馴染みの美容師が来たり男性は毎日の髭剃りなど個々に合わせて支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者のほとんどが食事の時間が1番楽しみであり職員と一緒に調理、配膳、後方付けをされている		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事や水分の摂取量を記録に残し量や栄養バランスを確保できるよう支援している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは医療機関の指導を受け一人ひとりの利用者の力に応じたケアをしている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の状況を記録し一人ひとりの排泄パターン、習慣を生かしてトイレでの排泄、自立に向けた支援を行っている		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や水分量を把握し運動などの活動への働きかけ等で予防を図り、重度の便秘者には医療機関と連携し対応している		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者の希望や体調に合わせて支援しているが、ホーム、職員の都合で変更せざる負えない日もある		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその日の体調や状況に合わせて、居室やリビングのソファで休めるように支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の説明書をファイルし職員全員がその目的や副作用、用法や用量について理解しており服薬の支援と症状の変化の確認に努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意なことで力を発揮できるよう役割や楽しみ事が出来る場面作りをするなどの支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩や買い物など日常的な外出支援は気候の良い日は行っているが冬期間は中々出来ないが家族の協力で自宅へ一時帰宅したり地域の人々と協力しながら外出支援をしている</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持、管理ができ生きがいのある暮らしが出来るよう、また希望する買い物に同行したり、代行したりしている</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自らの電話や手紙のやり取りは希望があればの支援をしているが、受け取ることが多くその返信などは働きかけをするなど支援している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間に季節の花で生け花をしたり他の植物を置いたり、絵や展示物で季節感を感じて頂けるようにしたり音や光、温度などに配慮し居心地良く過ごせるように工夫している</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間で一人になれる場が限られているため個々の居室や敷地内のベンチ等にご案内してつろいで頂けるよう支援している</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には危険なもの以外は規制しておらず使い慣れたものや好みのもを自由に使って頂き、居心地良く過ごして頂けるようにしている</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の身体状況に合わせて食卓イスを揃えたり廊下や居室などの居住空間の手すりなどの見直しをし安全に配慮した生活の支援をしている</p>		

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期介護の経験が少なく、利用者の重度化に伴い職員の知識不足による意識の低さがある。	知識を積み重ね意識の向上を図る。	研修や勉強会を繰り返し行い職員のレベルアップを図る。	6ヶ月
2	35	火災以外の災害の対応が出来ていない。	職員に避難経路や避難方法・それに伴い前もって準備すべき事などが周知徹底出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防に協力要請を行っており、火災以外の避難訓練を予定している。 ・ 勉強会などを重ね職員全員の意識の向上と前もった準備の徹底をしていく。 	4ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。